

調 査 研 究 活 動 実 績

氏 名 弘 田 兼 一

本年度（令和 7 年度）の政務調査研究に関する主な活動の実施状況は次のとおりであります。

- ① 高知県内の道路などインフラ整備の状況について現場視察し、状況調査を行った。8の字ルート（高規格道路）の整備や奈半利・室戸道路（構想路線）の早期具体化に向けて、要望活動や調査研究を行った。
- ② 過疎地における教育行政のあり方及び学校が地域の活性化に果たす役割について調査・研究を行った。
- ③ 県下の定置漁業が県の漁業振興にはたす役割について現状を調査し、地域振興についての施策の在り方について研究を行った。
- ④ 県下の産業振興の取り組みについて、各市町村の取り組み状況、個人企業の取り組み、各種団体の取り組みの調査・研究や、海洋深層水・土佐備長炭など地域にある資源を活用した産業振興の研究を行った。また、過疎地における従業員確保の仕組みについて調査研究を行った。
- ⑤ 県下の農林水産業など中山間対策、鳥獣被害対策についての取り組みの調査・研究を行った。
- ⑥ 高知県内外の観光振興に対する取り組み、釣り大会の誘致等による交流人口拡大の取り組み、地域連携による誘客の取り組み及びインバウンド対策についての調査・研究を行った。

- ⑦ 高知県内の健康福祉政策の実施状況について調査・研究を行った。
東部地域の医療施設や医療提供状況について調査・研究を行った。
東部地域の地域医療の確保について要望活動を行った。
- ⑧ 南海大地震に対する高知県のハード、ソフト両面における取り組み状況や未知の感染症対策などの危機管理のあり方について調査・研究を行った。